



アナコーテス市の高校生と
仁賀保高校茶道部の皆さん

アナコーテス市から教育訪問団“来市”

～にかほ市となって、はじめての訪問～

本市と姉妹都市にある米国のアナコーテス市から、4月10日～12日の間、高校生8人と引率者4人の教育訪問団が訪れました。

今回は、合併後初の訪問とあって、象潟小学校、TDK歴史館、仁賀保高校、白瀬南極探検隊記念館、象潟郷土資料館など市内全域を1日かけて見学。



TDK記念館では、TDKの原点であるフェライトのあゆみとそこから発展していった電子部品の数々を見ながら、システムエンジニア志望の学生は熱心に質問をしていました。

仁賀保高校では、情報メディア科の授業を見学。同校の生徒たちがパソコンで作成したイラストを熱心に見たり、実際にパソコンを操作したりと意欲的に参加していました。また、来校を歓迎した茶会も開催され、少し緊張した面持ちで茶室に入り、仁賀保高校の生徒がたてたお茶を「少し苦いけれどおいしい」と飲んでいました。

白瀬南極探検隊記念館では、にかほ市出身の南極探検家「白瀬 轟」らの南極到達の歴史やオーロラを大型スクリーンで見学。

象潟郷土資料館では、旧象潟町の成り立ちと景勝地として知られる「九十九島」の歴史について熱心に聞き入っていました。

見学の合間に立ち寄ったサイエンスパーク（フェライト科学館隣）では、フワフワドームで飛びはねる無邪気な一面も見られました。



手をつなぎなかよく入場（小出小学校）



初めて入った教室にドキドキ
（院内小学校）



「大きな声でお返事してね」（上郷小学校）



上級生がアトラクションで歓迎
（釜ヶ台小学校）



上級生たちに見守られながら元気に入場（象潟小学校）

ご入学おめでとう

いろんな夢と希望を胸に ～新1年生たち羽ばたいて～

小島たちがさえずり春が訪れた4月上旬、新たな年度を迎えた市内の各小学校では、入学式が行われました。
新1年生たちは、お父さんやお母さんたちが見守るなか、大きな拍手で迎えられ、少し緊張きみに入場。担任の先生から自分の名前が呼ばれると元気よく大きな声で返事をしていました。
上級生が元気いっぱい校歌やアトラクションを披露するところには、緊張がほどこけ、友だち同士笑顔で交わしている姿も見られました。
いろんな夢や希望を胸に抱きながら、6年間の小学校生活の新たな第一歩が始まりました。



新入学児童に帽子が手渡された（金浦小学校）



上級生から歓迎の言葉（上浜小学校）



名前を呼ばれて元気に返事（平沢小学校）